オレオレ詐欺被害が多発する中で、様々な注意喚起がある。それでも騙される人の数が減らず多いのが現状です。このような詐欺の他にも、芸能人を装いお金を振り込ませる誘導詐欺。情報商材等で、代金を支払ったが肝心の情報が送られてこないことや、送られた情報が全く違った情報を送り付ける情報商材詐欺。フリマアプリやオークション等の取引では、購入した商品と違う物が届いたり、代金を支払ったが商品が届かない等の購入者を騙す詐欺。占いサイト等の無料鑑定を含む無料の案内がいつの間にか有料の案内に変わる誘導詐欺。まだまだ数えたら切りがな程に様々な詐欺が報告されています。

このように詐欺の犯罪は、時代と共に、次々と新しい手口があらわれ、世間を騒がせる新たな詐欺被害も増え、被害もおさまるところか、加速しているのが実情である。当財団は、この実情を踏まえ、高齢者・主婦・子ども等が被害にあわない為の指導や対策を練り、全国に詐欺撲滅を目斗に、詐欺被害防止活動の普及推進をして参ります。最後に、被害が起こりそうな不審な電話や住所やカードの暗証番号を聞き出す電話が寄せられた時は、速やかに警察本部に知らせ、情報の共有等の連携を図り、被害を未然に防いでいくことに繋がり、社会に寄与して参ります。

当法人は、上記の目的(設立趣意書)を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 詐欺被害防止に関する講演及び普及活動。
- (2) 詐欺被害の防止に関する全国キャラバン事業の企画運営及び実施。
- (3) 電子広告及びインターネット等における詐欺防止を促す注意喚起等の促進事業。
- (4) 詐欺被害110番サポートセンター事業の運営。
- (5) 詐欺被害防止に関する催事の企画及び運営。
- (6) 詐欺被害防止に関する情報の収集・提供及び会報誌の配布。
- (7) 前各号に附帯関連する事業。
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

また、詐欺被害にあうことが多い高齢者の方を中心に様々な詐欺の手口をご理解いただくと共に、相談窓口として一人ひとりとのコミュニケーションをとり寄り添う活動をし、家族のため、老後に生活のために貯めた大切なお金を守ることや、注意喚起・呼びかけによって少しでも被害がなくなるような活動を使命と考え、継続してこの取り組みに努めていきます。

● 目的

詐欺被害の防止、注意喚起

● サービス

ネットなどの振込の際に注意喚起をおこない、ご本人に再度詐欺ではないか確認いただく取り組みをしていく。相談窓口を作り、詐欺被害のおそれがある場合、警察本部と連携しどのようにしていくのが最適かより良い解決方法を提案していく。